

総務常任委員会協議会に対する栗東健康運動公園整備事業の進捗状況の説明について

令和 6 年 12 月
健康運動公園整備事業推進課

●趣 旨

・このことについて、総務常任委員会の協議会より当該事業に関する今日までの進捗状況について勉強会として説明を求められたことから別添資料にて説明を行うもの。

※当該事業については、令和5年度にりっとう未来創造会議で協議した事業であることから、その事業進捗報告を兼ねたものとして説明する。

●12 月議会 総務常任委員会 協議会 での説明資料

- ・資料2 栗東健康運動公園整備事業の進捗状況経過について
- ・資料3 総務常任委員会協議会(説明資料)

＜参考資料＞説明経過

- ・令和 4 年 3 月 栗東健康運動公園基本計画を策定
- ・令和 4 年 4 月 栗東健康運動公園基本設計 着手
- ・令和 4 年 12 月 JRAと協定書締結
- ・令和 5 年 7 月 地元説明会(小野、北尾団地、栗東ニューハイツ、)
- ・令和 5 年 8 月 葉山東学区説明会
- ・ “ 議会説明会(8 月)(周辺自治会への事業説明実施状況)
- ・令和 5 年 10 月 第 1 回 栗東健康運動公園整備懇談会 開催
- ・ “ 議会説明会(10 月)(基本設計に伴う事業者への事前ヒアリング報告)
- ・令和 6 年 2 月 議会説明会(2 月)(基本設計に伴う事業者への事前ヒアリング報告 2 回目)
- ・令和 6 年 3 月 第 2 回 栗東健康運動公園整備懇談会 開催
- ・令和 6 年 5 月 第 3 回 “
- ・令和 6 年 7 月 議会説明会(7 月)(サウンディング調査の実施について報告)
- ・ “ サウンディング調査実施
- ・令和 6 年 10 月 議会説明会(10 月)(サウンディング調査の結果について報告)
- ・令和 6 年 11 月 第 4 回 栗東健康運動公園整備懇談会 開催

栗東健康運動公園整備事業の進捗状況経過について

令和 6 年 12 月
健康運動公園整備事業推進課

●経過報告

- ・令和 4 年 3 月 栗東健康運動公園基本計画を策定
- ・令和 4 年 4 月 栗東健康運動公園基本設計 着手
- ・令和 4 年 12 月 JRAと協定書締結
- ・令和 5 年 7 月 地元説明会(小野、北尾団地、栗東ニューハイツ、)
- ・令和 5 年 8 月 葉山東学区説明会
- ・ " 議会説明会(8 月)(周辺自治会への事業説明実施状況)
- ・令和 5 年 10 月 第 1 回 栗東健康運動公園整備懇談会 開催
- ・ " 議会説明会(10 月)(基本設計に伴う事業者への事前ヒアリング報告)
- ・令和 6 年 2 月 議会説明会(2 月)(基本設計に伴う事業者への事前ヒアリング報告 2 回目)
- ・令和 6 年 3 月 第 2 回 栗東健康運動公園整備懇談会 開催
- ・令和 6 年 5 月 第 3 回 "
- ・令和 6 年 7 月 議会説明会(7 月)(サウンディング調査の実施について報告)
- ・ " サウンディング調査実施
- ・令和 6 年 10 月 議会説明会(10 月)(サウンディング調査の結果について報告)
- ・令和 6 年 11 月 第 4 回 栗東健康運動公園整備懇談会 開催

総務常任委員会 協議会

(説明資料)

令和6年12月16日

説明事項

- ・事業の概要について …… P. 3～8
- ・想定している官民連携イメージについて …… P.9
- ・サウンディング調査の概要と結果について …… P.10～11
- ・イニシャルコストおよびランニングコストの資金スキームについて
…… P.12～14
- ・今後のスケジュールについて …… P.15

栗東市及び栗東健康運動公園の概要

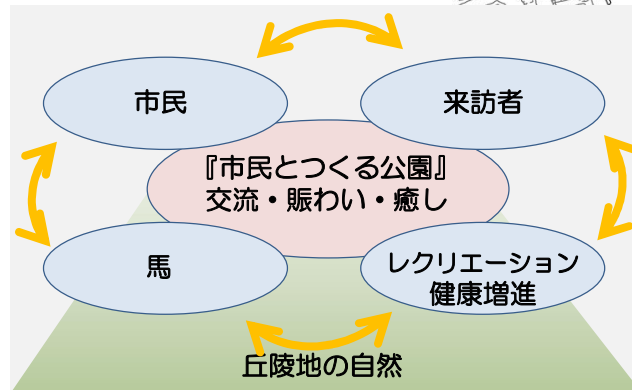
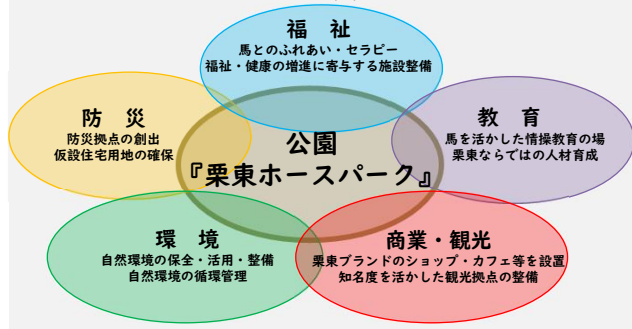


栗東健康運動公園の整備方針

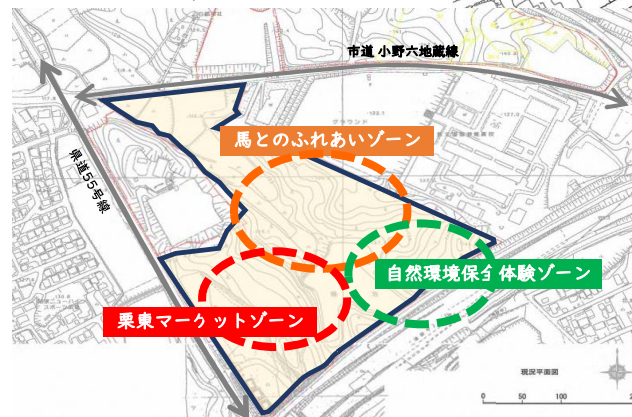
■基本方針

市民とともに作る公園『栗東ホースパーク』

・・・栗東にしかできないチャレンジ



■ゾーニング



栗東健康運動公園の整備方針



栗東健康運動公園の各ゾーンにおける主要導入施設と施策の展開イメージ①

『栗東マーケットゾーン』

【主要導入施設】

・にぎわい施設

地元産品の販売、地元食材を提供するレストラン・カフェ

馬のミュージアム※

・自然遊び場

■公共施設等を活用した馬事業の展開

民間による馬関連事業の取り組みの支援

馬のミュージアム※、馬関連イベント開催

■社会参加の促進と就労支援の促進

障がいのある人もない人も一緒に働ける場

■高齢者の健康・生きがいづくりの推進

高齢者を含む地域雇用促進、労働等による健康増進

■防災基盤の整備、地域消防力の強化

災害時の緊急離着陸場や災害援助物資

集積所、応援機関受入場所、仮設住宅建設用地等にも活用

駐車場での消防団の訓練

■親しみのある公園の整備

自然地形、自然素材を活かした子供の遊び場



●丘陵地の「にぎわい施設」イメージ写真



写真出典(左): http://www.mlit.go.jp/crd/park/shisaku/ko_shisaku/kobetsu/img/kobetsu_c_2_1_04.jpg

写真出典(右): http://www.mlit.go.jp/crd/park/shisaku/ko_shisaku/kobetsu/img/kobetsu_c_2_1_06.jpg

※令和4年3月に策定した公園基本計画では、「栗東マーケットゾーン」内に「馬のミュージアム」を設置する計画としていましたが、現時点では「馬とのふれあいゾーン」に設置する計画としています。



栗東健康運動公園の各ゾーンにおける主要導入施設と施策の展開イメージ②

『馬とのふれあいゾーン』

【主要導入施設】

・ふれあい牧場

馬場、屋内馬場、厩舎、養老牧場、管理施設

■馬と触れ合える拠点づくりの推進

公共施設等を活用した馬事業の展開

乗馬、ホースセラピー、ひき馬

引退競走馬の活用（馬のセカンドライフ）

市内イベントへの馬の参加

■社会参加の促進と就労支援の促進

障がいのある人もない人も一緒に働ける場

■高齢者の健康・生きがいづくりの推進

厩務員等の退職後の活動の場、厩務技術の承継

将来の人材育成のきっかけづくり

■福祉や教育分野における馬の活用

馬とのふれあい、チャレンジウィークでの勤労体験

校外学習



●栗東ブランド「ふれあい牧場」イメージ写真

(写真出典： <http://hitosato.blogspot.com/2017/09/918.html>)



●馬の世話による情操教育・セラピー効果のある「ふれあい牧場・厩舎」イメージ写真

(写真出典： <http://file.minamialpsjyoba.take-uma.net/lmg/1537049799/>)

栗東健康運動公園の各ゾーンにおける主要導入施設と施策の展開イメージ③

『自然環境保全体験ゾーン』

【主要導入施設】

- ・ 経堂池及び周辺現況保全林
ホーストレイル、環境学習林

■環境学習を推進し、人材育成を図る(※)

水辺や保全緑地内の生物観察等環境学習

■馬と触れ合える拠点づくりの推進

公共施設等を活用した馬事業の展開

馬とのふれあいの場と隣接する「ホース
トレイルコース」を利用した乗馬体験

■防災基盤の整備

ため池水の利用（消火用）



●「ため池水利」イメージ写真

（■の項目は総合計画の基本事業から。うち(※)は環境基本計画から）
写真出典： <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/6776.html>

栗東健康運動公園で想定している官民連携イメージ

栗東健康運動公園で想定している官民連携イメージについては基本計画、基本設計の中で事前ヒヤリング等での調査も踏まえ、市としての整備方針を一定の市場性、実現性を考慮し、作成したものです。

民間活力を導入し、公園管理者（市）の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図ることを目的に、

- ・にぎわい施設（公募対象公園施設）と当該事業から生じる利益を活用して広場、園路の一部を特定公園施設として一体的に整備する者を公募する
- ・公設民営の公園施設として馬関連施設を市で設置し、管理許可施設として馬関連事業を行うものを公募する
- ・自然環境保全体験ゾーンについては森林法上の残置森林の位置づけ等もあることから、現時点で自然や地形を活かした遊び場としての整備以上の計画はないが、事業者から魅力的な提案があった際にはさらなる事業展開について検討する

という区域分けをイメージしています。

《参考》現時点で導入を想定している民間活力導入手法の組み合わせについて

○にぎわい施設及び広場、園路について

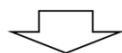
事業者に広場、園路を**P-PFI制度による特定公園施設**として可能な範囲で一体整備を求めることを想定しています。

○馬関連施設について

馬関連事業の事業性から市でインフラ整備した上で**設置管理許可**により事業者が施設運営をする手法を想定しています。

○公園の維持管理について

にぎわい事業者に馬関連施設以外の一体としての管理（指定管理）を求めることを想定しています。



●サウンディング調査により実現性を確認していきます。

●事業者より、より良い提案があった場合は手法の変更についても検討します。

※本資料は、令和6年5月時点のものです。
整備・管理・運営内容については
サウンディング調査結果等、今後の検討により
変更となる場合があります。

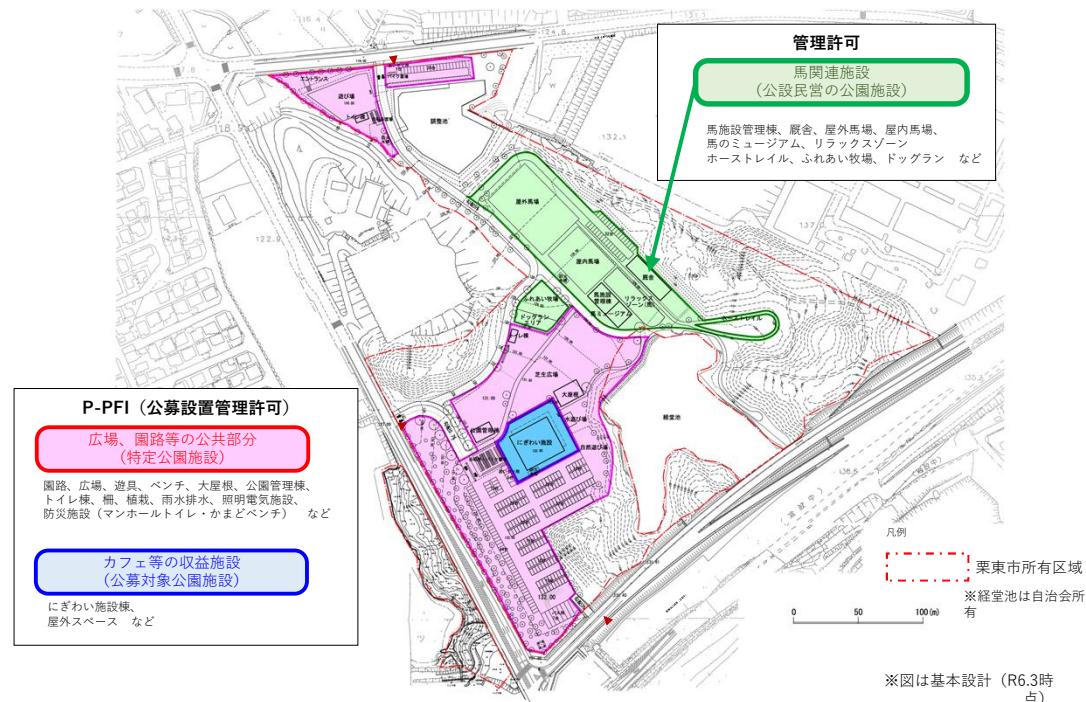


図1 想定官民連携イメージ図

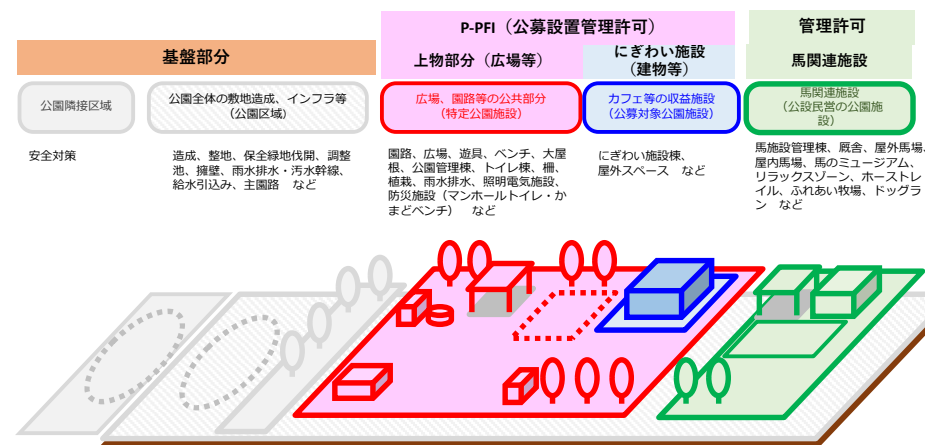


図2 官民連携概念図

■栗東健康運動公園におけるサウンディング調査の概要

1 調査名称

栗東健康運動公園（ホースパーク）サウンディング調査

2 調査対象

名称	栗東健康運動公園
場所	滋賀県栗東市小野40番地1ほか
規模	約9.4ha
施設	①馬とのふれあいゾーン 屋内馬場、屋外馬場、馬施設管理棟、馬のミュージアム、厩舎、リラックスゾーン、ホーストレイル、ふれあい牧場、ドッグランなど ②栗東マーケットゾーン にぎわい施設、芝生広場、自然遊び場、水遊び場、駐車場などの施設 ③自然環境全体体験ゾーン 自然環境保全を前提とした、環境学習の場又は自然や地形を活かした遊び場としての施設 上記①②③すべて又は一部のみでの官民対話の参加（意見・提案）が可能です。



3 本調査の背景及び目的

本調査は、民間事業者の皆様との対話を通じ、事業参画条件の把握や、本公園の魅力向上に資する整備・管理・運営内容の提案を頂くサウンディング調査です。
頂いたご意見・提案等を踏まえ、本公園で想定する整備・管理・運営内容の市場性の有無や事業スキームに対する民間事業者の意向等を事前に把握することで、実現性の高い整備・管理・運営内容を検討し、参入しやすい公募条件等、今後予定している公募内容に反映することを目的としています。
本公園は令和12年度の開園を目指しています。

※サウンディング調査とは、公園の整備・管理・運営について民間事業者の皆様から広く意見、提案を求め、対話を通じて市場性や整備・運営等スキームを検討する為の調査です。

4 調査フロー（5 サウンディング調査の実施手順）

公募に関する民間事業者へのサウンディング調査は以下のとおり実施する予定です。

サウンディング調査実施要領の公表	事業に対する考え方、条件、サウンディング調査の実施手順を記載した実施要領を公表します。
合同事前説明会・現地見学会の開催	サウンディング調査に関する合同事前説明会、現地見学会を開催します。（※参加は必須ではありません）
サウンディング調査への参加受付（エントリー）	サウンディング調査に参加される事業者の企業名、個別対話の希望日時等をご提出いただきます。
サウンディング調査簡易提案書の受付	本事業参画意欲や事業内容、事業条件等について、簡易提案書をご提出いただきます。
個別対話の実施	簡易提案書に基づき、必要に応じ、民間事業者と個別に対話しご意見・ご希望をお聞きます。
結果の公表	頂いたご意見・ご希望を整理し、社名を含め可能な範囲で公表します。

○提出を求める書類

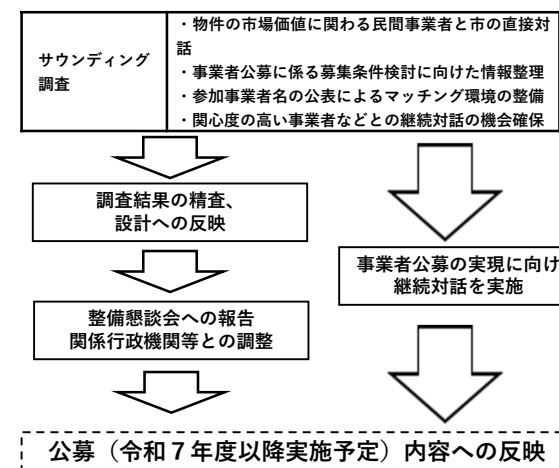
- ・合同事前説明会・現地見学会申込書
- ・エントリーシート
- ・質問書
- ・簡易提案書 → 事業参加の意欲、事業内容、事業条件等の提案
- ・関心表明書 → 貸与資料（使用料、指定管理料の考え方）の申し込み
- ・誓約書 → 秘密保持等についての誓約

**※本資料は、令和6年5月時点のものです。
整備・管理・運営内容については
サウンディング調査結果等、今後の検討により
変更となる場合があります。**

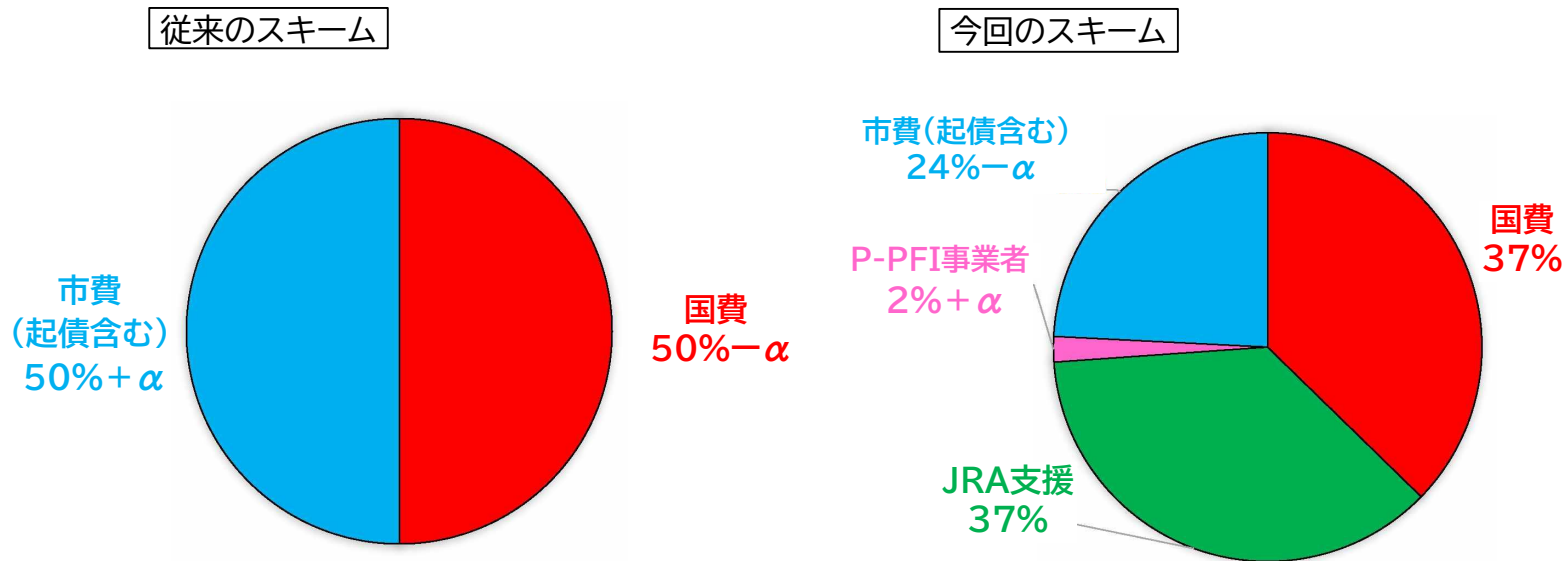
参考-1 スケジュール

内容	日程
サウンディング調査実施要領等の公表	令和6年7月2日（火）
合同事前説明会・現地見学会の参加申込受付	令和6年7月2日（火） ～令和6年7月8日（月）17:00
合同事前説明会・現地見学会の実施	令和6年7月12日（金）
質問受付、〆切	令和6年7月2日（火） ～令和6年7月19日（金）17:00
質問回答公表	令和6年7月26日（金）
サウンディング調査参加受付（エントリー）、〆切	令和6年7月2日（火） ～令和6年8月23日（金）17:00
関心表明書・誓約書受付、〆切	令和6年7月2日（火） ～令和6年8月23日（金）17:00
サウンディング調査簡易提案書受付、〆切	令和6年7月2日（火） ～令和6年8月23日（金）17:00
個別対話の実施	令和6年9月6日（金） ～令和6年9月30日（月）
サウンディング調査結果の公表	令和6年10月末頃

参考-2 今後の取組みシナリオ



公園整備費(イニシャルコスト)の資金スキームについて(案)



JRA支援、P-PFIを活用した整備をすることで
市費を抑制した整備を実現

開園後の維持管理経費(ランニングコスト)の資金スキームについて(案)

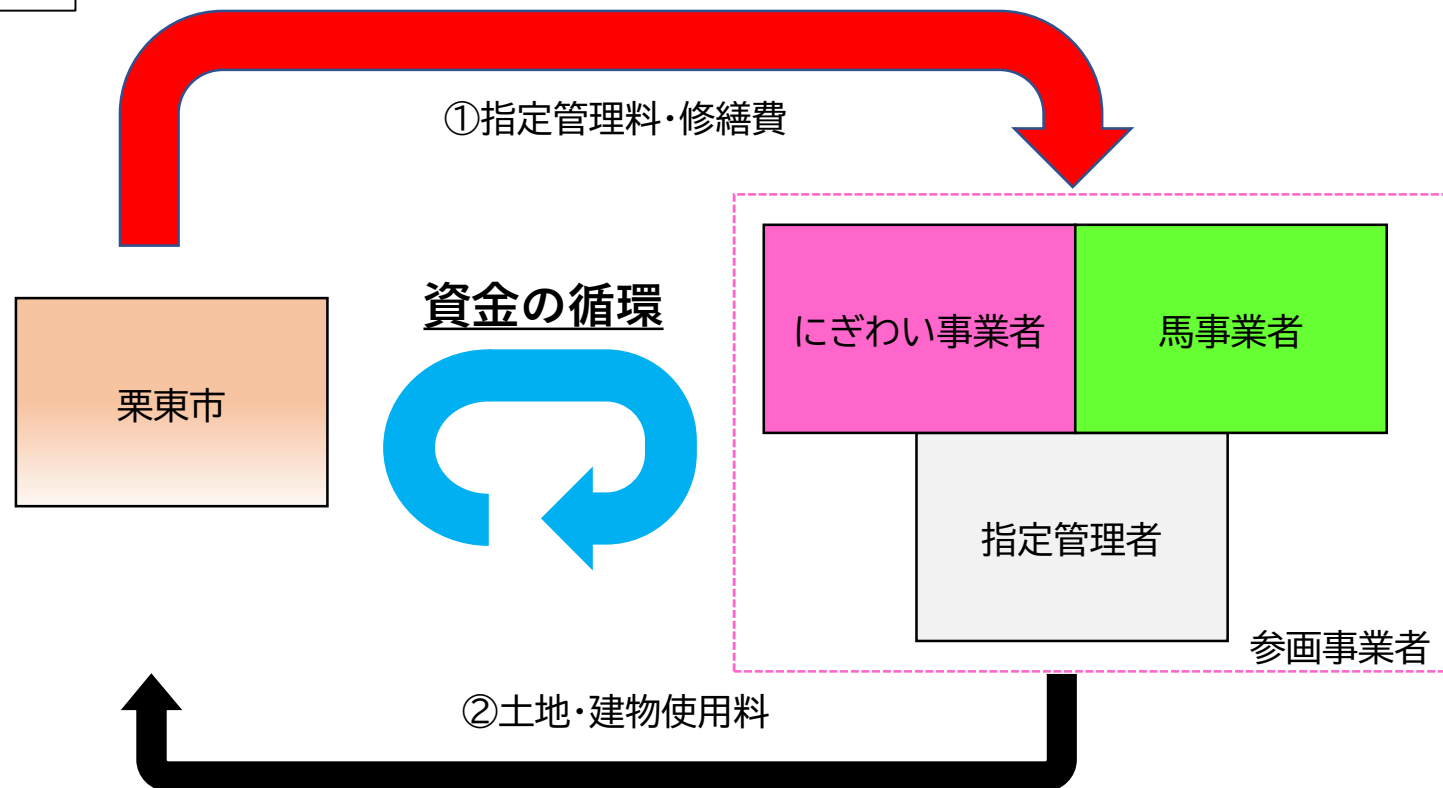
従来のスキーム



指定管理事業者に払う費用については市一般会計からの持ち出し

開園後の維持管理経費(ランニングコスト)の資金スキームについて(案)

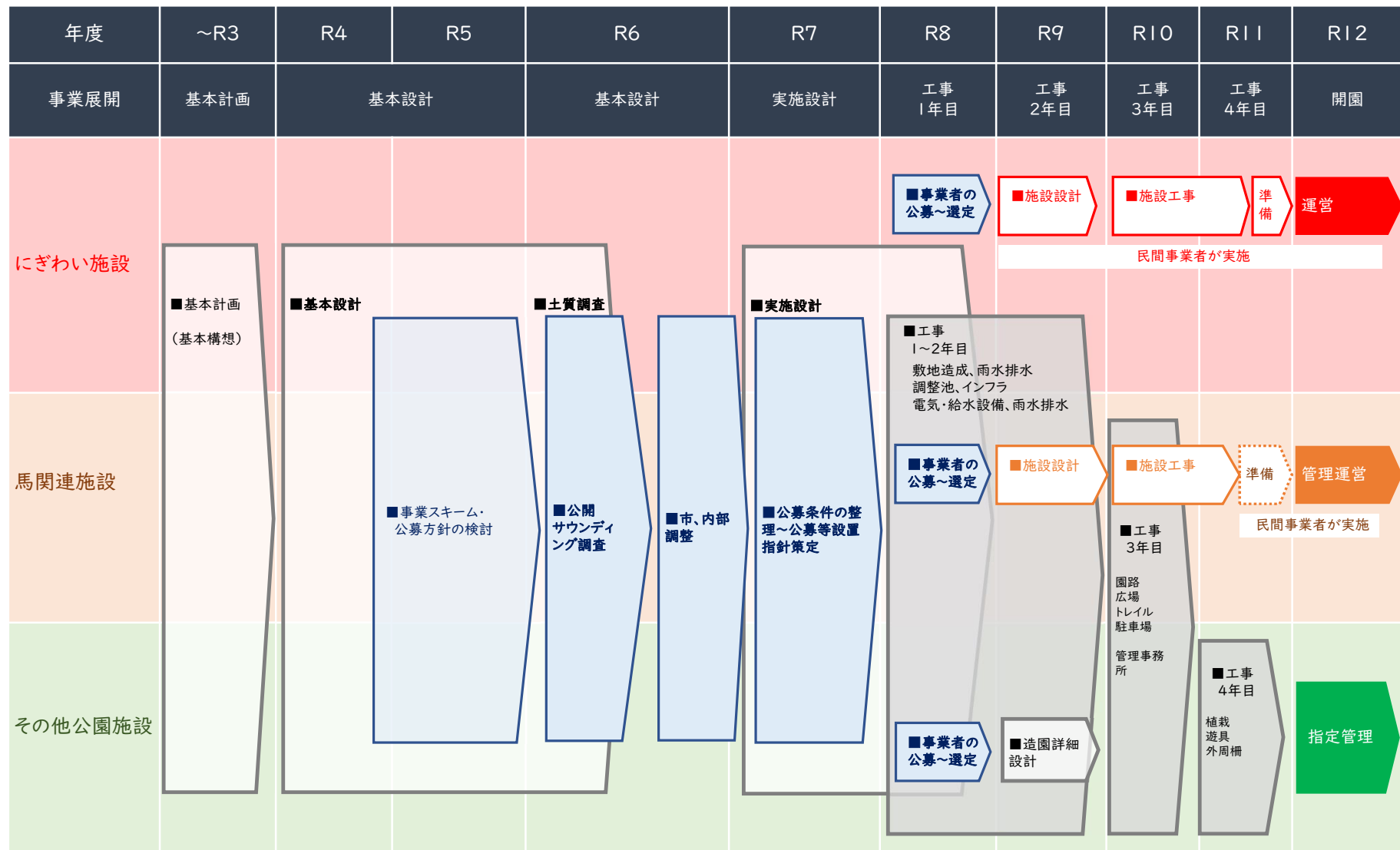
今回のスキーム



(① ≤ ② + α) を目指し取り組んでいく。

(① > (② + α) の時は不足額を市費にて補填となる見込み)

想定スケジュール（案）



※事業者公募の状況などで見直しが必要になることが考えられます。管理運営手法も同様です。